

能登牛知名度向上のための応援活動の実践 ～石川県農林漁業まつり参加～

団体名●コスメティックベコリン♡（手塚ゼミ）／代表者名●田中茉弥（女子短期大学部2年）

はじめに（背景・目的・目標）

石川県のブランド牛＝能登牛は、知名度が年々上昇しつつあるが、全国上位のブランド牛に比べるとまだまだ認知度が低いことが課題である。

私たち短期大学部経営実務科手塚ゼミナールでは、2021年8月から能登牛銘柄推進協議会、能登牛生産者協議会、石川県農林水産部畜産振興・防疫対策課振興グループ、全国農業協同組合連合会石川県本部、石川県畜産協会と協働する旨の合意を得て、これまで応援活動を展開してきた。2022年度は、5年に一度開催される全国和牛能力共進会鹿児島大会石川県ブース応援担当として参加し、更に、首都圏のカフェで試食会を開催、能登牛知名度向上に尽力した。2023年度は、「第44回いしかわの農林漁業まつり」に参加し、能登牛公式キャラクター「ベコりん」をモチーフにしたボディコロンの販促品を製作・配布した。

今年度は、「日用品として使いやすいもの」「あらゆる世代にも使いやすいもの」「能登牛に関連した材料を入れたもの」に加え、「令和6年能登半島地震」によって甚大な被害を受けた能登牛や生産者を応援するメッセージが込められるような販促品を考案し、「第45回いしかわの農林漁業まつり」に応援活動を行うことを目的として活動を展開した。

活動内容

2024年6月から能登牛生産者協議会と協働で販促品をプロデュースするため、株式会社ケイズとの打ち合わせを行い、「能登の深層水を使った入浴剤（バスエッセンス）」を企画した。また、昨年からアイデアが出ていたが、実現できていなかった「エコバック」の製作も行った。



←ベコりん
バスエッセンス



ベコりんのエコバック↑
（星マークで星短イメージ）

成果、結果の考察

2024年10月20日、「第45回いしかわの農林漁業まつり」に学生17名が参加し、応援活動を行った。イベント参加用に、先輩がデザインしたピンクのTシャツを着用し、まつりイベントに花を添えた。

学生自らが考案した2アイテムの入浴剤とエコバックは飛ぶように売れ、午前中ではほぼ完売した。

今後の課題、展望

これまで、能登牛を応援する販促品を5アイテムプロデュースしてきたが、今年度は消費者の世代を拡大し、多くの人が利用し得るアイテムにできたこと、能登牛に関連した材料を部分的に取り入れることができたことは、大きな成果であった。しかし、今後の課題として、一つには能登牛そのものの材料を取り入れられる商品プロデュースを実現していきたい。具体的に言えば、「馬油」を使ったシャンプーや化粧品などのように、能登牛の脂を利用した化粧品の開発を実現したい。2022年に既にその取組みを開始したが、脂の衛生管理基準が課題となり、実験・検証を継続することができなかった。

二つには、これまでに複数アイテムのプロデュースに成功しているものの、商品化が実現できていない。特に、今年度プロデュースした入浴剤とエコバックについては、価格設定次第ではあるが、消費者のニーズには合っており、市場での売れ行きが期待できるとイベントの配布経験を通じて実感している。今後も、能登牛関連グッズが更に拡大できるよう、応援活動を継続したい。

